

# RC造と比べ8700万円削減

## 独自工法で建築費抑制

シルバーウッド（千葉県浦安市）は、独自開発の「スチールパネル工法」により、建築費全体の低コスト化を図り、建物の一括借り上げ費用を極力抑える提案を行なっている。

同工法は、鋼材板厚1.0ミリから2・2ミリの形鋼材を、角型やC型に成形し、それらを外壁、床、屋根などの主要構造材としてパネル化。強軽

度を大幅に短縮でき、か

つ躯体が内外装の下地を

量が、鉄筋コンクリート造の約7分の1、重量鉄骨造の約3分の1で済むため、基礎部分の部材費の抑制が可能なほか、大規模かつ高額な杭工事が不要となったり、地盤改良程度で建築できるケー

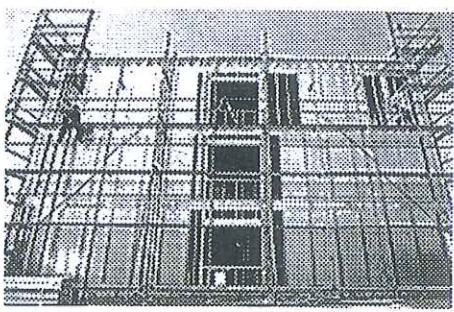
スも多い。

「千葉で建築したサ付き住宅『銀木庫』を例に挙げると、地上3階建て敷地面積200平米、延

床面積600平米の案件

の場合で、鉄骨鉄筋コンクリートと比べ7500万円、RC造と比べ8700万円のコストダウンができました」（シルバーウッド・下河原忠道社長）

建築費が高騰する中、運営事業者や建築会社、設計事務所などからの問い合わせが増えており、月間30件以上の新規問い合わせがあるという。



▲鉄骨ツーバイフォーのスチールパネル工法